

特集

動画でわかる脳神経患者のポジショニング・移乗
細かいワザも満載！勉強会にも使える！チェックリスト付き！

プランナー：百田武司 日本赤十字広島看護大学 学部長／教授

患者の移乗・ポジショニングは、転倒予防・誤嚥予防・拘縮防止・QOL向上に直結する重要なケア技術。ボディメカニクスの活用や福祉用具の選定、麻痺側の巻き込み防止など、患者の状態に応じた安全で負担の少ない方法が求められます。看護師・介護職の身体的負担軽減にもつながるため、今こそ正しい知識と技術の習得が必要です。本特集は動画と連動して嚥下ケア・移乗・拘縮予防を包括的に学べる実践書です。QRコードで簡単に動画を視聴でき、臨床現場や勉強会でそのまま使えます。

第1章 脳神経疾患患者の身体の特徴とケアの基本

1 脳神経疾患の特徴

- ・脳卒中：片麻痺・感覚障害
- ・パーキンソン病：拘縮・前傾姿勢
- ・認知症：理解力低下と不安
- 2 筋緊張・麻痺・拘縮
 - ・筋緊張とその影響/麻痺・拘縮が起こるメカニズム
- 3 ポジショニング・移乗にかかるリスク
 - ・誤嚥・転倒・褥瘡のリスク要因

木下真吾 日本赤十字広島看護大学 准教授

山崎克仁 JA広島総合病院

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

第2章 食事場面の摂食嚥下ケアとポジショニング

1 食事前の準備と姿勢調整

- ・ベッド上での食事姿勢 ・車椅子での座位の保ち方
- 2 嚥下障害に応じたポジショニング
 - ・片麻痺患者：健側支持と頭頸部の位置
 - ・パーキンソン病患者：前傾対策と安定性
- 3 誤嚥を防ぐための工夫
 - ・頭部・体幹の安定 ・クッション・タオルの活用

迫田綾子 日本赤十字広島看護大学 名誉教授

川端直子 広島市立リハビリテーション病院 看護師長／
摂食・嚥下障害看護認定看護師

迫田綾子 日本赤十字広島看護大学 名誉教授

第3章 移乗動作の基本と応用(ベッド⇒車椅子)

1 移乗の基本原則と安全確認

- ・介助者のボディメカニクス ・転倒リスクの見極め
- 2 ベッド⇒車椅子への移乗
 - ・片麻痺患者（健側・患側） ・立ち上がり困難な患者への対応
- 3 車椅子⇒ベッドへの移乗
 - ・スライディングボードの活用 ・スリングシートの使い方

北野和喜 松江赤十字病院 脳卒中認定理学療法士

末永綾香 岡山赤十字病院
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師山根ゆかり 広島市立リハビリテーション病院
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

広告締切

申込締切日：2026.3.4

版下出版社必着：4C

2026.3.4

1C

2026.3.17

綴込 2026.3.23

広告料
(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
記事中※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事中	1色	1頁	80,000	220×150
記事中	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がりに天地左右3mm タチシロありの印刷物

取扱い広告代理店

※掲載場所指定は20%増の料金となります（記事中カラーのみ対応）。

●広告原稿は完全データでお願いします。※広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。

●入稿の際は、広告データ、出力見本（確認用PDF）をご準備ください。

●広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。

●企画内容が変更になる場合があります。

広告に関するお問い合わせは、上記の取扱い代理店、もしくは（株）メディカ出版 総広告代理店（株）メディカ・アド
TEL:03-5776-1853までお願いいたします。◇この内容は、弊社ホームページ内の「掲載可能な専門誌一覧（<https://www.medica.co.jp/ad/>）」からダウンロードできます。

第4章 拘縮・褥瘡予防のためのポジショニング

1 拘縮予防の基本姿勢

- ・ベッド上での四肢ポジショニング
- ・関節可動域を保つ工夫

2 褥瘡予防の体位変換

- ・30° 側臥位の作り方
- ・クッション配置のポイント

脳神経疾患患者のポジショニング・移乗の安全確認チェックリスト

山本浩子 日本赤十字広島看護大学 准教授

星賀維久子 広島共立病院 リハビリテーション科 理学療法室
副主任／理学療法士

中村もとゑ 日本赤十字広島看護大学 准教授

百田武司 日本赤十字広島看護大学 学部長／教授

Topics

ジェネレーションをするつと越えるかかわり
脳神経病棟の後輩指導ABC

プランナー：小林雄一 尾道総合病院看護師長／脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

脳神経病棟の日常は、「急変」というリスクと常に隣り合わせです。その緊張感の中、あなたは日々自分自身のスキルアップとともに「後輩指導」という重要なミッションを担っていることでしょう。しかし、「急変対応の難しさをどう伝えたらいいのか怖い」「指導法が今の後輩に通じない」「自分もまだ不安なのにどう教えたら?」と、指導に悩んでいませんか。特に、麻痺や意識障害といった「見極め」の難しさ、そして後輩とのジェネレーションギャップが指導の悩みを深めます。本特集は、そんなあなたの「リアルな悩み」に寄り添うために企画されました。先輩たちの本音を共有しつつ、指導を成功に導く体系的なステップと、すぐに使える具体的なフレーズ集を凝縮。指導の不安を抱える先輩方へ「世代を超えて響く指導法」を提案します。この一冊で、あなたは指導者としての確かな自信を持つことができ、後輩との信頼関係を築くヒントを得ることができます。指導で悩む時間を、自信を持って臨床に取り組む時間に変えるために。「ジェネレーションをするつと越える」新しい一步を踏み出しましょう。

1 なぜ脳神経病棟の後輩指導は難しいのか

- ・脳神経病棟での指導が難しい理由
- ・急変リスクと観察・対応力の重要性

東舎見真 JA尾道総合病院

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

2 「教えるのが怖い」「自分もまだ不安」A先輩のリアルストーリー

- ・先輩の本音
- ・後輩とのジェネレーションギャップ体験談

column: 後輩たちのリアルボイス

3 脳神経病棟の後輩指導ABC

A: Assess(理解度を見極める)

- ・観察力、判断力の差をどう把握?
- ・「わかっているつもり」を見抜く質問例

森澤亮太 社会医療法人 岡本病院

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

B: Bridge(ギャップをつなぐ)

- ・麻痺・意識障害の観察ポイントをどう伝える?
- ・急変時対応を“丸暗記”から“考える力”へ

C: Communicate(信頼関係を築く)

- ・「怖い先輩」にならない声かけ

広告締切

申込締切日：2026.3.4

版下出版社必着:4C

2026.3.4

1C

2026.3.17

綴込 2026.3.23

広告料

(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
記事中※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事中	1色	1頁	80,000	220×150
記事中	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がりに天地左右3mm タチシロありの印刷物

取扱い広告代理店

※掲載場所指定は20%増の料金となります(記事中カラーのみ対応)。

●広告原稿は完全データでお願いします。※広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。

●入稿の際は、広告データ、出力見本(確認用PDF)をご準備ください。

●広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。

●企画内容が変更になる場合があります。

広告に関するお問い合わせは、上記の取扱い代理店、もしくは(株)メディカ出版 総広告代理店(株)メディカ・アド
TEL:03-5776-1853までお願いいたします。◇この内容は、弊社ホームページ内の「掲載可能な専門誌一覧(<https://www.medica.co.jp/ad/>)」からダウンロードできます。

脳神経外科看護専門誌

ブレインナーシング

2026.3号

4 すぐに使える！指導の小ワザ&ツール

小ワザ1:ラウンド時に1問！後輩の観察力を伸ばす
“この患者さんの変化どこに注目する？”質問例

小ワザ2:Z世代に響く声かけフレーズBEST10

小ワザ3:急変シミュレーションのシナリオ

5 今日からできる！指導のヒント総まとめ
・後輩指導は“教える”より“共に学ぶ”
・不安を力に変える指導スタイルとは？

池本智義 社会医療法人社団順心会 順心病院
脳卒中看護認定看護師

山下信人 独立行政法人国立病院機構東広島医療センター
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

池本智義 社会医療法人社団順心会 順心病院 脳卒中看護認定看護師
小林雄一 JA尾道総合病院 看護師長
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

読者ターゲット

脳神経外科看護スタッフはじめ研修医、専門医、リハビリ担当スタッフ

ADポイント

急性期からリハビリまで、幅広い関わりを持つナースが看護機器を実質、選定しています。

広告締切

申込締切日: 2026.3.4

版下出版社必着: 4C

2026.3.4

1C 2026.3.17

綴込 2026.3.23

広告料
(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
記事中※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事中	1色	1頁	80,000	220×150
記事中	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がりに天地左右3mm タチシロありの印刷物

※掲載場所指定は20%増の料金となります(記事中カラーのみ対応)。

- 広告原稿は完全データでお願いします。※広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。
- 入稿の際は、広告データ、出力見本(確認用PDF)をご準備ください。
- 広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。
- 企画内容が変更になる場合があります。

広告に関するお問い合わせは、上記の取扱い代理店、もしくは(株)メディカ出版 総広告代理店(株)メディカ・アド
TEL:03-5776-1853までお願いいたします。

◇この内容は、弊社ホームページ内の「掲載可能な専門誌一覧(<https://www.medica.co.jp/ad/>)」からダウンロードできます。